


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 2月 9日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第7号	質問議員	8番	清水 明	
件名	町の人口増加対策を問う				
要 旨					
<p>町の努力により流入人口は増加しているにもかかわらず、人口減少に歯止めがかからない。東京都でも初めて区の流出人口が流入人口を上回ったというニュースが報じられたが、地方ではさらに深刻の度合いを深めつつある。今までも幾たびとなく同僚議員が質問しているが、改めて町の人口増加策の取り組みについて質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">過日行われた県立山北高校が3年間取り組んできた「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）」（文部科学省指定）の研究成果発表会では、多くの町に対する各分野に渡っての提言がされ、山北町の魅力を高校生の目で発見し、山北町の素晴らしさを地域住民と共有し、住みよい町であることを発信することにより町の活性化を図り、人口増につなげるという熱意を感じた。町はそれらの提言をどのように評価し、対応しようとしているのか。人口増加を考える上で、必要なことはまず「住」の問題があげられるが、それについては現在「東山北1000計画」が進行中である。次に考えるべきは「職」である。理想をいえば工場なり事業所を町内に誘致できればそれに超したことはないが難しいと考える。しかし、子育て世代を呼び込むためには収入確保の場は必要条件である。コロナ禍がいつまで続くかわからないが、リモートワークはさらに定着すると考えれば、当町が首都圏にあることは有利点であり大きな可能性となる。<p>また、今後高齢社会が進むにつれて脱農業が進むことは間違いない。それら農地を活用し脱都会で農業志向の流入希望者とのマッチングも人口増加策として、町はどう考えるか。</p>					